

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月下旬
基準日	毎年1月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://www.ishiihyoki.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。



住 所 広島県福山市神辺町旭丘5番地
電 話 番 号 084-960-1247（代表）
F A X 番 号 084-960-1010
ホームページ <https://www.ishiihyoki.co.jp/>



第52期 報告書

2024年2月1日 ▶ 2025年1月31日

ORIGINALITY,

PASSION,

CHALLENGE.

さらなる事業の安定化と 特定事業領域への依存からの転換へ。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当連結会計年度（2024年2月1日から2025年1月31日まで）の事業をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、堅調な企業業績を背景にした雇用・所得環境の改善に加え、インバウンド需要の回復が持続したことなどから緩やかな回復が続きました。一方で、中東地域での紛争、ロシアによるウクライナ侵攻など不安定な海外情勢の長期化や、中国経済の停滞、不安定な為替相場、今後のアメリカの政策動向など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、プリント基板分野においては、スマートフォンやパソコン等の民生機器向けの半導体需要に減速感が出ており、パッケージ基板の需要が減少しております。液晶関連分野におきましても液晶パネルの大幅な需要回復は見られず、中国においても現地経済の停滞に伴い電子部品実装需要の調整局面が続いております。

このような環境変化に対応するため、市場規模の大きな業界での安定的な拡張や当社グループの持つ技術を既存以外の市場においても展開できるよう、取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2025年4月
代表取締役社長 山本 晋宏

「独創的」な製品作りに情熱を持って「挑戦」し、 会社と社員の永遠の幸福を目指します。

- 1 世界一の技術集団として
永遠の成長を目指します
- 2 「人」を大切にし、
活躍の場を提供します
- 3 地域に根ざした企業活動を通じ、
経済社会に貢献します

ビジョン

高収益の技術集団

会社方針

顧客を継続的に創造し、社員に夢を持たせる
安定と成長、キャッシュ・フロー経営の強化

- ①製造業の原点回帰（実行力）
- ②適時、適材、適所
- ③ボーダレス経営
- ④事業の選択と集中

経営哲学

倫理観の共有

企業文化・風土

コンプライアンス
内部統制・コーポレートガバナンス

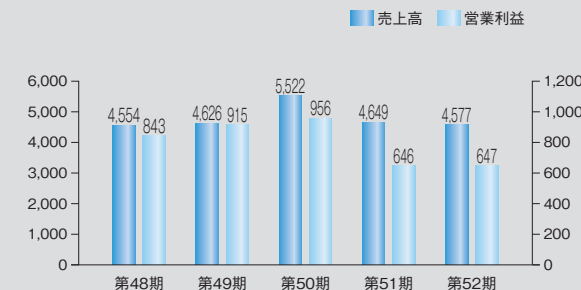
企業価値の向上

電子機器部品製造装置

売上高
45億77百万円
前連結会計年度比 **1.5%**

営業利益
6億47百万円
前連結会計年度比 **0.2%**

売上高／営業利益（単位：百万円）

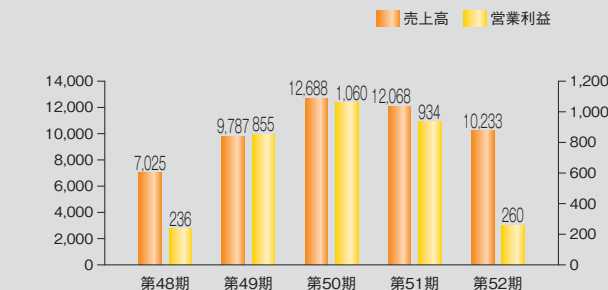


ディスプレイ及び電子部品

売上高
102億33百万円
前連結会計年度比 **15.2%**

営業利益
2億60百万円
前連結会計年度比 **72.1%**

売上高／営業利益（単位：百万円）



プリント基板分野

●半導体向けパッケージ基板の需要減少に伴い同分野での設備投資が減少したことなどから前連結会計年度と比較し売上高は減少しました。

液晶関連分野

●液晶パネル需要の大幅な回復は見られないものの、新規参入需要を取り込み、液晶パネル製造装置の販売が増加したことなどから、売上高は前連結会計年度を上回りました。

その結果、売上高は45億77百万円（前連結会計年度比1.5%減）、営業利益は6億47百万円（前連結会計年度比0.2%増）となりました。

○プリント基板分野



FBR研磨機

HS研磨機



水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

○液晶関連分野



インクジェットコーター

ウエハ対応インクジェット塗布装置

【主要製品】

- HS研磨機
- FBR研磨機
- インクジェットコーター
- 極薄基板用研磨機
- 超音波洗浄機
- ウエハ対応インクジェット塗布装置
- セラミックジェットスクラブ機
- 極薄基板用水洗乾燥機
- 水平搬送UP/DOWN方式 電気銅メッキ装置

自動車向け印刷製品及び工作機械並びに産業用機械向け操作パネル

●顧客の生産調整が続き、売上高は前連結会計年度と比較し減少しました。

その他

●JPN,INC.は、主要顧客の生産調整が続く中、新規顧客開拓を進めたことにより売上高は前連結会計年度並みとなりましたが、利益面では原材料価格上昇等の影響から前連結会計年度を下回りました。上海賽路客電子有限公司においても中国経済の減速が続き電子部品実装需要が減少していることから、前連結会計年度と比較して減収減益となりました。

その結果、売上高は102億33百万円（前連結会計年度比15.2%減）、営業利益は2億60百万円（前連結会計年度比72.1%減）となりました。

○オートモーティブ製品



○GOP液晶システム



○メンブレンスイッチパネル・ユニット製品



○シルク印刷・ラベル印刷・アルマイト銘板

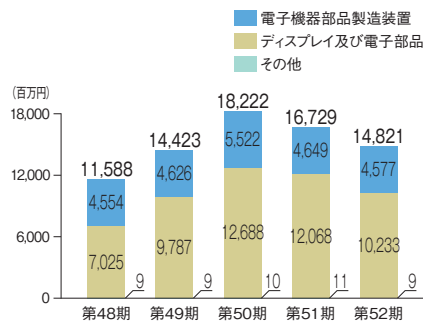


財務ハイライト

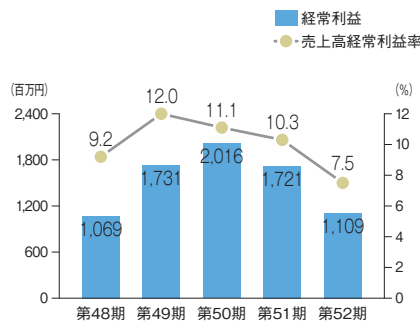
Financial Highlights

	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
売上高（百万円）	11,588	14,423	18,222	16,729	14,821
営業利益（百万円）	1,078	1,770	2,015	1,580	907
経常利益（百万円）	1,069	1,731	2,016	1,721	1,109
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	726	1,490	1,639	1,101	788
純資産額（百万円）	3,672	5,463	7,422	8,686	9,738
総資産額（百万円）	12,388	13,487	16,238	16,681	15,700
1株当たり純資産額（円）	450.50	670.18	910.39	1,065.44	1,194.55
1株当たり当期純利益（円）	89.15	182.85	201.13	135.09	96.70
総資産当期純利益率（ROA）（％）	5.87	11.05	10.10	6.60	5.02

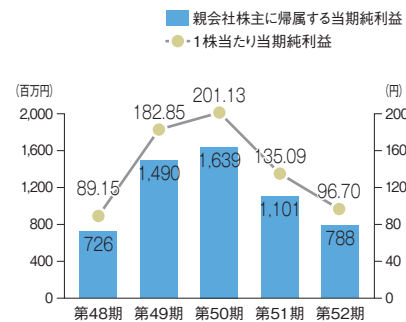
事業の種類別売上高



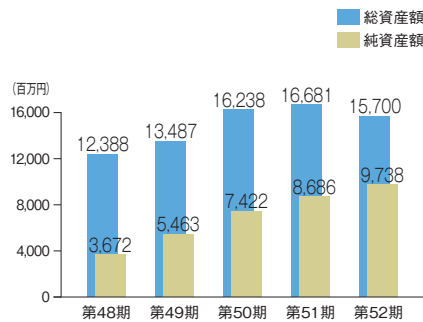
経常利益／売上高経常利益率



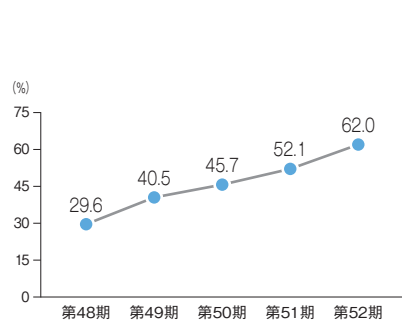
親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



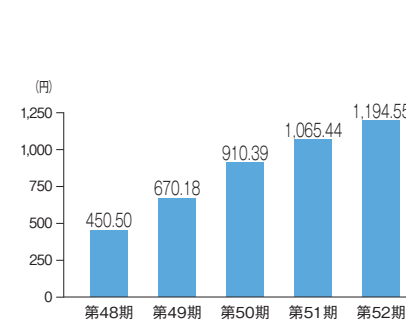
総資産額／純資産額



自己資本比率



1株当たり純資産額



トピックス

TOPICS

ホームページのリニューアル



2024年8月に当社のホームページをリニューアルいたしました！

より見やすく、使いやすいデザインに一新し、皆様にとって快適にご利用いただけるように工夫を凝らしております。

ぜひご覧ください。

<https://www.ishiihyoki.co.jp/>

健康経営の認定取得

企業の最大の資源は人であるという考えのもと、従業員とその家族を含めた心身の健康づくりのサポートとなるよう健康増進に向け取り組んでまいりました。その取り組みが評価され、2024年8月8日に東京電子機械工業健康保険組合の健康優良企業「銀の認定」に認定されました。



グリーンボンドへの投資



当社は広島県が掲げる温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けた「2050ネット・ゼロカーボン」に賛同し、本県が発行するグリーンボンドへの投資を実施いたしました。本債券を始めとしたSDGs債への投資を継続的に実施することで、今後も環境及び社会の課題解決につながる事業やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、社会的責任を果たしてまいります。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 (2025年1月31日現在)	前期末 (2024年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	10,132	11,064
固定資産	5,567	5,616
資産合計	15,700	16,681
(負債の部)		
流動負債	3,824	5,451
固定負債	2,136	2,544
負債合計	5,961	7,995
(純資産の部)		
株主資本	8,720	8,054
資本金	300	300
資本剰余金	1,107	1,107
利益剰余金	7,333	6,667
自己株式	△ 20	△ 20
その他の包括利益累計額	1,018	631
純資産合計	9,738	8,686
負債純資産合計	15,700	16,681

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

1 負債合計
当社において増加した営業キャッシュ・フローを原資として借入金の圧縮を進め短期、長期借入金の合計額が15億77百万円減少したことなどから前連結会計年度末に比べ20億33百万円減少しました。

2 純資産合計
剰余金の配当を1億22百万円実施したものの、親会社株主に帰属する当期純利益を7億88百万円計上し、利益剰余金が6億66百万円増加したこと、為替換算調整勘定が3億80百万円増加したことなどから前連結会計年度末に比べ10億52百万円増加しました。この結果自己資本比率は9.9ポイント増加し62.0%になりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (2024年2月 1 日から 2025年1月31日まで)	前期 (2023年2月 1 日から 2024年1月31日まで)
3 売上高	14,821	16,729
売上原価	11,434	12,674
売上総利益	3,387	4,054
販売費及び一般管理費	2,479	2,473
3 営業利益	907	1,580
営業外収益	284	227
営業外費用	82	86
3 経常利益	1,109	1,721
特別利益	5	3
特別損失	11	211
税金等調整前当期純利益	1,103	1,513
法人税、住民税及び事業税	254	277
法人税等調整額	61	134
3 当期純利益	788	1,101
親会社株主に帰属する当期純利益	788	1,101

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
当社においてプリント基板製造装置、工作機械並びに産業用機械向け操作パネルの売上高が前連結会計年度を下回ったことに加え、連結子会社の上海賽路客電子有限公司も中国経済の減速が続き電子部品実装需要が減少したことなどから減収減益となりました。これらを要因としてグループ全体でも前連結会計年度と比べ減収減益となりました。

個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期末 (2025年1月31日現在)	前期末 (2024年1月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	4,403	5,629
固定資産	4,728	4,758
資産合計	9,132	10,387
(負債の部)		
流動負債	2,470	4,080
固定負債	1,316	1,728
4 負債合計	3,787	5,808
(純資産の部)		
株主資本	5,322	4,559
資本金	300	300
資本剰余金	1,068	1,068
利益剰余金	3,975	3,211
自己株式	△ 20	△ 20
評価・換算差額等	22	19
その他有価証券評価差額金	22	19
純資産合計	5,345	4,579
負債純資産合計	9,132	10,387

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4 負債合計
増加した営業キャッシュ・フローを原資として借入金の圧縮を進め短期、長期借入金の合計額が15億21百万円減少したことなどから前事業年度末に比べ20億21百万円減少しました。

個別損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (2024年2月 1 日から 2025年1月31日まで)	前期 (2023年2月 1 日から 2024年1月31日まで)
5 売上高	6,873	7,699
売上原価	4,877	5,412
売上総利益	1,995	2,286
販売費及び一般管理費	1,625	1,677
5 営業利益	370	609
営業外収益	810	654
営業外費用	61	67
5 経常利益	1,119	1,196
特別利益	5	2
特別損失	10	209
税引前当期純利益	1,114	989
法人税、住民税及び事業税	186	168
法人税等調整額	41	76
5 当期純利益	886	744

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

5 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益
子会社からの受取配当金が増加したものの、プリント基板製造装置、工作機械並びに産業用機械向け操作パネルの売上高が前事業年度を下回ったことなどから、減収減益（経常損益段階）となりましたが、減損損失の計上が減少したことなどから当期純利益は前事業年度と比べ増益となりました。

会社の概要

Corporate Data

(2025年1月31日現在)

商号	株式会社石井表記
設立	1973年4月
資本金	300,000,000円
本社	広島県福山市神辺町旭丘5番地
営業所	東京営業所（東京都板橋区） 名古屋営業所（愛知県一宮市） 大阪営業所（大阪府吹田市） 滋賀営業所（滋賀県草津市） ※2025年2月から大阪営業所へ統合 明石営業所（兵庫県明石市） ※2025年2月から大阪営業所へ統合
従業員数	307名（連結 672名）
関係会社	国内 株式会社CAP 海外 JPN, INC.（フィリピン） ISHII HYOKI (SUZHOU) CO., LTD.（中国） 上海賽路客電子有限公司（中国）

取締役及び監査役（2025年4月25日現在）

代表取締役会長	石井 峯 夫
代表取締役社長	山本 晋 宏
常務取締役	松井 忠 則
取締役	岩永 浩 司
取締役	松井 誠 治
取締役（社外）	石井 裕 工
取締役（社外）	本 田 祐 二
常勤監査役	渡 邊 伸 樹
監査役（社外）	森 末 辰 彦
監査役（社外）	松 岡 清 史



ホームページのお知らせ

<https://www.ishiihyoki.co.jp/>

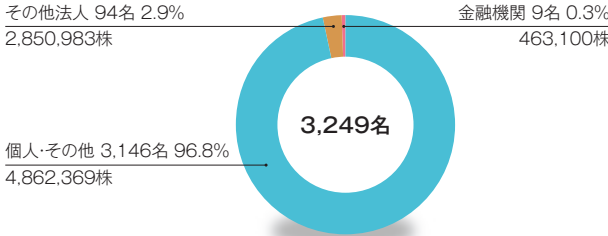
ホームページにアクセスしていただきますと、
当社の各種情報をご覧いただけます。

株式の状況

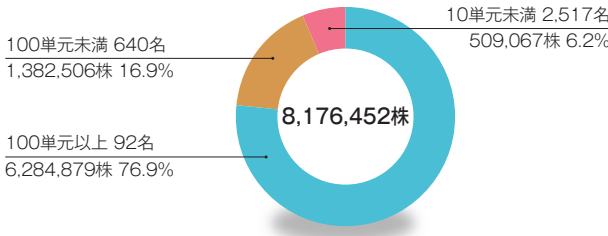
Stock Information

(2025年1月31日現在)

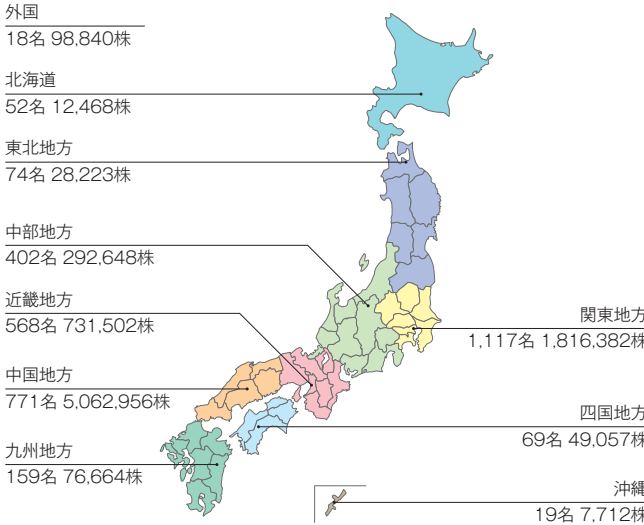
所有者別株主分布状況



所有株式数別株式分布状況



地域別株式分布状況



発行可能株式総数	31,644,909株
発行済株式総数	8,176,452株
株主数	3,249名

大株主（上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社アイエフエム	1,966,360 株	24.12 %
石井 敏 博	615,000	7.54
イシイヒョーキ従業員持株会	571,066	7.00
石井 幸 蔵	167,060	2.05
石井 博 幸	161,380	1.98
大和証券株式会社	155,900	1.91
株式会社三菱UFJ銀行	144,000	1.77
石井 朋 子	138,240	1.70
大 善 彰 総	118,000	1.45
株式会社広島銀行	110,000	1.35

(注) 持株比率は自己株式（23,827株）を控除して計算しております。